PTC Jetstream サービス記述書

PTC Jetstream オファリングの使用には、SaaS 基本契約（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない用語は、本契約で定義されている意味を有します。

はじめに／オファリングに関する基本事項

このオファリングは、包括的なコラボレーション機能セットを含む SaaS 環境をお客様に提供します。PTC Jetstream は、登録ユーザー単位で契約され、利用開始には最低契約数が必要です。すべてのサブスクリプションには、1 つの本番インスタンスへのアクセス権が含まれます。非本番インスタンスは利用できません。例えば、互換性のない構成を必要とする異なる複数の事業部門をサポートするために、お客様が複数の本番インスタンスを必要とする場合、事業部門ごとに個別のサブスクリプションが必要です。

アップデート及びアップグレード

PTC は、PTC Jetstream のアップデート及びバージョンのリリース日を製品リリースカレンダー（support.ptc.com/cs/release-calendar/index.html）で公開します。

バックアップ及び復元

システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持されます。PTC は、本サービスを通じて削除された個々のファイルを復元することはできませんが、お客様のご要望に応じて、バックアップからシステムの完全な復元を行うことは可能です。

災害復旧

大規模なサービス停止が発生した場合、PTC は災害復旧プロトコルを実施します。必要な場合、本番システムの復旧時点目標 (RPO) は 24 時間、復旧時間目標 (RTO) は 5 日間とします。

データストレージの権利

現在、データストレージに関して制限や追加料金は設けられていませんが、PTC は、制限を超えるストレージに対して制限や料金を課すために、本サービス記述書を更新する権利を有します。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、PTC トラストセンター に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、https://www.ptc.com/en/documents/policies にあります。

バッチ

本サービス若しくは本サービスに含まれる機能若しくはデータにアクセスし、若しくはこれらを使用し、又は本サービスによって生成された出力物（以下「マテリアル」という）を使用する個人ごとにライセンスが必要です。これは、当該アクセス又は使用が直接的であるか間接的であるかを問わず、例えばウェブポータルを通じたアクセス、又は「バッチ」その他の手段によってマテリアルへの間接的アクセスを実現する場合が含まれます。共通又は共用のログインは認められないものとします。例えば、登録ユーザーが登録ユーザーではない人物とパスワードを共有した場合、これは登録ユーザーライセンスモデルに違反するため、許可されません。同様に、お客様は、適切なライセンスを持つ自然人（人間）であるユーザーによって開始されるタスクを自動化する目的に限り、汎用のサービス用アカウントを作成することができますが、ライセンスを保有していないユーザーのためにタスクを実行する目的で作成することはできないものとします。

データのエクスポート

本サービス終了日が了知された後、お客様は、(1) 本サービス終了日に先立って、お客様の新システムへのデータ入力をテストする目的でのエクスポート、(2) 本サービス終了日の最終エクスポートという最大 2 回のデータエクスポートを要求できます。お客様は、当該要求を PTC と調整するものとします。ただし、お客様は PTC と契約することにより、追加料金を支払って標準では提供されないデータエクスポートを追加することができます。PTC は、お客様のデータを最後の抽出時から約 30 日間保持します。この期間を過ぎたデータは破棄されます。この 30 日間の期間中は、アーカイブされたデータの複製 1 つをお客様からの要請に応じて提供できます。正当な手続きに沿った Windchill データエクスポートの場合、データのエクスポート形式には、データベーススキーマのエクスポート、Directory LDIF のエクスポート又は類似のユーザーリストのエクスポート、Enterprise LDAP LDIF のエクスポート、外部ファイルボールトのコンテンツのうち、該当する項目が含まれます。